

みどりから 未来へ

～次世代へつなぐを合言葉に～

JAみどりの新キャラクター「みのるん」に想いを寄せ、皆さまに、末長く親しみを感じていただけるJAを目指します。



アボカド

タケノコ

ぶどう

徳重だいこん

緑区の特産物をモチーフにした、JAみどりの新キャラクターの名前は、「みのるん」です。

アボカドのボディに、タケノコの帽子とぶどうの実の飾りを付けて、徳重だいこんのロケットに乗りながら、都市農業の未来に向けて活動します。今後は、地元農産物のPRやJAみどりの取り組みについての案内役など、色々な場面で活躍していきます。JAみどりの新キャラクター「みのるん」を、どうぞよろしくお願いします!!



ぶどうの葉

タケノコの帽子

ぶどうの実の飾り

名前は
「みのるん」
です!

アボカドのボディ

徳重だいこんのロケット

缶バッジ



みのるん

封筒



「みのるん」とJAみどりを
身近に感じていただくために

令和7年1月より、「みのるん」をデザインした現金封筒をATM横に設置しました。また、「みのるん」の缶バッジも作成し、職員が制服や名札等に付けています。皆さまに、「みのるん」を覚えていただき、JAみどりとともに身近に感じていただけたら幸いです。

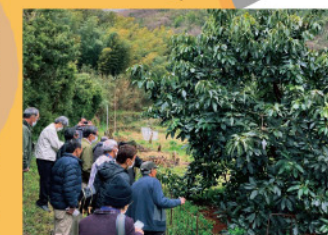
緑区でアボカド栽培に挑戦

令和6年2月に作成したチラシでは、徳重だいこんに次ぐ地元農作物のブランド化を目指しているアボカド栽培と今後の取り組みについて報告しました。その後の進捗について、お知らせします。



国産アボカドの 産地視察

緑区産アボカドを生産している農家とJAみどりは、30年以上アボカドの生産に取り組んでいる和歌山県の農園を視察しました。栽培条件や剪定方法、収穫後の貯蔵方法について詳しく知ることができました。緑区産アボカドの生産に役立てていきます。



初めて一定量の収穫ができ、多くの良品をご用意することができました。

アボカドの販売

スーパーでの即売会

令和6年10月、緑区の平和堂グリーンプラザ店でアボカドの試食販売を開催しました。試食された方からは、「海外産のアボカドよりもクリーミーで甘味を感じる」や「緑区産のアボカドがあることに驚いた」との感想が寄せられました。



農協まつり

令和6年11月に開催した農協まつりにて、販売品として用意した26個のアボカドは、販売開始からわずか15分で完売しました。



連合会や 行政との協力体制

JAあいち経済連との連携

JAみどりのアボカド栽培は、経済連との共同研究に端を発しています。令和6年11月、管内のアボカド生産者3名がJAあいち経済連を訪れ、意見交換を行いました。広報誌にも様子が掲載されました。

行政の協力

行政との連携として、緑区役所にもアボカド栽培について報告しました。今後も行政との協力体制を強化し、緑区産のアボカドについてPRを続けていきます。



緑区長へアボカドを紹介

徳重だいこん

JAみどりは、未来を担う子供たちに向けて「あいちの伝統野菜」徳重だいこんの栽培講習を開催しています。これは、食農教育の一環として徳重だいこんの栽培を希望する学校の声にお応えするもので、栽培方法から、特徴などを授業形式で行っています。講習を希望する学校等は、令和6年度は、高校と中学校が各1校、小学校が5校、保育園が1園でした。令和5年度と比較しても、徳重だいこんの栽培に興味を示している教育の現場は多くなっています。「徳重だいこんの世話や成長を見守ることが、学校に通う楽しみの一つになった」という嬉しい言葉も、子供たちから届いています。



ぶどうの剪定講習

令和6年12月に、尾張農林水産事務所農業改良普及課の技師を講師として招き、ぶどうの剪定講習を開催しました。長年ぶどう作りをされているベテランの農家も参加され、農業技術の習得や知識向上に努めています。また、今回の講習会にはぶどう農家の次世代の方が4名参加しました。担い手の高齢化や後継者の育成が近年の課題ですが、このような講習にも次世代が気軽に参加できるようにしていくことで、農業後継者へのスムーズな事業継承を、JAとして支援していきます。



活動体験



スマートフォンひとつでSNSを活用し、世界中の人と繋がることができたり、情報を手に入れたりできる便利な世の中になりました。そうした中でJAみどりは、デジタル化を進めつつも、協同組合としての原点を忘れず、当JAを軸とする人と人との繋がりが深まる体験の場を提供していきます。

プチ体験

令和6年度から「プチ体験」と題して、気軽に参加できる行事を開催しています。女性を対象とし、ランチ会やヨガ・大人ダンス、東海ラジオの見学会など、人と交流する場の提供や健康づくりにかけない運動の機会、日ごろ体験できない場所への訪問などを実現しています。プチ体験を機会に、人との交流や新しい体験へチャレンジしてみてください。参加は、その都度1回ずつの申し込み制です。続けられなかったらどうしよう等の不安を感じることなく、お気軽に参加していただくことができます。



東海ラジオの見学会



ヨガ

JAみどりの経営基盤

強みは総合事業



JAみどり
くらしの安心サポート



相談

訪問活動で承った相談事の解決以外にも、各種相談会で様々な「組合員の困った」の解決に取り組んでいます。相談会では、万一の事があった際にどれくらい相続税が発生するのか、子供たちに苦勞をかけないために資産管理をどうしていくべきか、自分が元気なうちに、少しずつ子供たちに資産管理を移行させていきたいなどのお声が寄せられています。

よろず相談

不動産部は、毎月第1火曜日に予約制の「よろず相談会」を開催しています。予約制とすることで、必要に応じて他部署の職員も立ち会い、質の高い相談体制を実現しています。



税務相談

組合員の税金に関するお悩みは多くあります。相続税の仮計算から対策としての贈与など、顧問税理士と連携しながら、組合員の皆さまの資産を守るため、相談に応じしています。



確定申告の受付

臨時税務書類作成許可を受けて、正組合員とその家族を対象に、所得税・消費税の確定申告を毎年お手伝いしています。

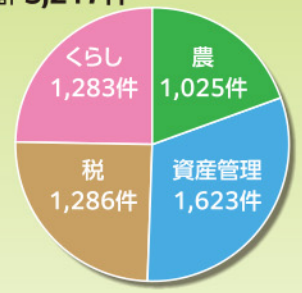


訪問活動



渉外担当者や窓口職員、本支店の管理者が組合員との対話を大切に、訪問活動を行っています。日常の出来事や経済の動向、世間での話題のニュース等、様々なお話をしながら深耕をしています。対話の中から「農」「資産管理」「税」「くらし」等の相談事を承り、総合事業の強みを活かしたご提案や、専門部門へお繋ぎし、迅速な「組合員の困った」の解決を実現します。

●窓口・よろず相談実績
(令和6年4月～12月末)
累計 5,217件



農

例えば…

「農業機器の購入を検討しているが、使用頻度からすると価格が高いんだよね」とご相談がありました。



JAみどりでは、廉価で農業機器の貸出しを行っていることをお知らせ。農業機器の貸出し内容と料金についてご説明したところ、ニーズに合致し、その場で経済部と連携し農業機器の貸出し予約までを完了しました。

資産管理

例えば…

「相続に向けて遺言書を作成しようと思うんだけど、どう進めていけばいいのだろうか」とご相談がありました。



不動産部と連携し、よろず相談をご案内。後日相談の予約を承りました。この相談をきっかけに遺言書作成が進んだと、組合員から嬉しいご報告がありました。

税

例えば…

「相続税の事をそろそろ真剣に考えていかなければと思っているんだけど、どうしたら良いのだろうか」とご相談がありました。



JAの税務相談の日程をご案内しました。また税理士の紹介や不動産部・共済部と連携し、組合員がすぐに相談できる担当につなぎました。

くらし

例えば…

男性のお客様から「仕事を定年退職した後の、趣味について悩んでいるんだよね。何か気軽に始められる事はないかな」とご相談がありました。



JAみどりが開催している「男の料理教室」をご案内。内容や開催日数も気に入っていただき、現在も会員として楽しんで活動されています。

